



⑧ 反射板ハンドル

②主蒸気管...ボイラーの中の水が蒸発して蒸気になり、蒸気溜の中に溜まりますが、蒸気溜の中にある加減弁を開くと、蒸気溜の蒸気が過熱管に送られさらに過熱され、主蒸気管の中を通り、シリンダーへと送られます。(⇒p35「蒸気ドーム(加減弁)」)(⇒p7「加減弁テコハンドル」)

③吐出管...シリンダーからの吐出蒸気は③吐出管から吐き出されます。

パーフェクトブックで
お楽しみください。

吐出管の中を見ました。

パーフェクトブックで
お楽しみください。

④ペチコート...石炭を燃やした煙と吐出管からの水蒸気は、一緒に④ペチコートから煙突へ抜けていきます。
※機関車によっては、ペチコートの下に火の粉よけのネットが被されたものもありますが、すぐ詰まるなどしたため、外されることも多かったみたいです。

⑤通風器...走行中は③吐出管から蒸気が出るため、石炭を燃やした燃焼ガス(煙)は③吐出管からの蒸気とともに真上の④ペチコートから煙突へ吐き出されます。しかし、停車中や絶気運転中の場合は、③吐出管からの蒸気は出ないため、煙が滞ってしまいます。そこで、蒸気分配箱から、③吐出管の先に付いている⑤通風器へ蒸気を送り真上へ噴き出し、真空状態を作り、煙を真上に排出しやすくするようになっています。

(⇒p15「蒸気分配箱」へ)

⑥固定反射板/⑦可動反射板...燃焼ガスは上へと流れる性質があるため、反射板を使って、燃焼ガスをボイラー内の下へ下へとまんべんなく流れるようにします。反射板は上部の固定と下部の可動に分かれていて、下部の可動反射板を⑧反射板ハンドルにより動かすことにより、燃焼ガスの動きを調整します。

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまう
した。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき／D51688 号蒸気機関車保存協力会